



サウジ・ビジョン2030の構成

1 活気に満ちた社会

観光振興，文化・娯楽・スポーツ振興，教育改革，ヘルスケアの拡充等

2 繁栄した経済

中小企業振興，女性の労働参画推進，公共投資基金の増資（1,600億ドル→2兆ドル以上），軍事産業の育成再生，可能エネルギーの推進等

3 野心的な国家

人的資本開発，財政規律の見直し，歳入多角化の推進，ボランティア振興等

2016年4月

サウジアラビア政府，「サウジ・ビジョン2030」を公表。

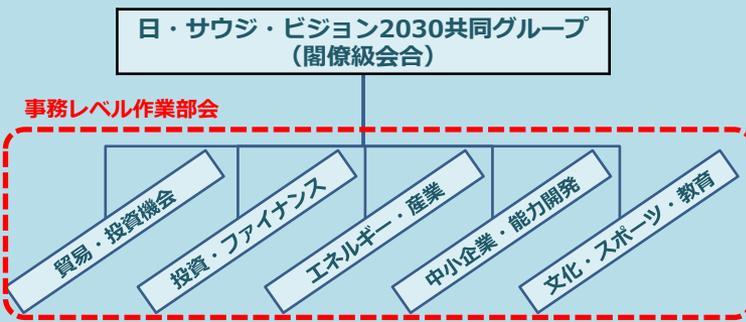
「サウジ・ビジョン2030」は，石油依存体質から脱却し，包括的発展を実現するための成長戦略。計86ページの文書内に，各種数値目標が多数盛り込まれている。ムハンマド副皇太子が，経済開発評議会議長として策定を指揮。

2016年9月

ムハンマド副皇太子訪日。「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」の立ち上げを発表。

二国間協力の基本的な方向性と具体的なプロジェクト・リストを掲げた「日・サウジ・ビジョン2030」を策定するための枠組み。

共同グループの構造



2016年10月

「日・サウジ・ビジョン2030共同グループ」第1回閣僚級会合の開催（於：リヤド）。

5つの事務レベル作業部会（サブグループ）会合も併せて開催。閣僚級会合の後，日本側出席者，世耕大臣及び園浦副大臣によるサルマン国王及びムハンマド副皇太子への表敬が行われた。

閣僚級会合の様子



閣僚級会合の風景



サルマン国王表敬



議事録署名の様子



ムハンマド副皇太子表敬

2017年3月

サルマン国王訪日。第2回閣僚級会合の開催。

「日・サウジ・ビジョン2030」公表

日・サウジ・ビジョン2030概要

(Saudi-Japan Vision 2030)

1 骨子

- 新しい日サ協力の羅針盤として、脱石油依存と雇用創出のためサウジが追求する「サウジビジョン2030」と、GDP600兆円の達成に向けて日本が追求する「日本の成長戦略」のシナジーを目指す。
- シナジーを最大化するため、以下の3本の柱からなる日本ならではの総合的な協力とする。

- ①多様性：幅広く強靱な産業育成による持続的成長
- ②革新性：技術・イノベーションへの投資による競争力強化
- ③ソフトバリュー：社会・文化的基盤強化による経済活性化

- 日サの41省庁・機関が参加し、具体的連携の重点分野として、以下の9分野にまたがる広範な協力分野を設定。

- ①競争力ある産業
- ②エネルギー
- ③エンターテインメント・メディア
- ④健康・医療
- ⑤農業・食料
- ⑥質の高いインフラ
- ⑦中小企業・能力開発
- ⑧文化・スポーツ・教育
- ⑨投資・ファイナンス

- 規制の見直し、インセンティブ等のビジネス促進措置（Enabler）の強化でも連携。

2 先行プロジェクト

- 重点9分野と同措置に関し、両国の合意に基づき、31件の先行プロジェクト（別紙）を選定、実施する。
- 官官で11件、官民及び民民で20件の覚書に署名予定。

3 実施体制の強化

- 日・サウジ・ビジョン2030の実施体制強化のため、規制等横断的課題に取り組むサブグループを新設する。このサブグループに関する先行プロジェクトとして、経済特区（Enabler Showcase Zone; ESZ）を含む事業環境整備に向けた調査を開始する。
- 東京とリヤドにビジョンの実施拠点「日・サウジ・ビジョンオフィス」を新設し、両国の各サブグループ参加機関や民間企業のコミュニケーションを加速し、プロジェクトの推進を支援。

日・サウジビジョン2030 先行プロジェクトの例（1 / 4）

競争力のある産業

第四次産業革命の市場調査【覚書】

（日本側）経産省 （サウジ側）KACST

- 共同投資によりシナジー効果が期待できる領域の特定に向けた共同調査の実施に向けた協力。

越境ECプラットフォーム構築に向けた協力

（日本側）日本郵便 （サウジ側）サウジポスト

- 日本郵便提案の越境ECプラットフォームの構築に向けた現地企業やサウジポストとの協力。

製造業国内サプライチェーン形成

（日本側）経産省 （サウジ側）エネルギー産業鉱物資源省

- 2016年9月締結のMOCに基づいた、中東協力センターの産業タスクフォーススキームを活用した、サウジでの製造業サプライチェーン構築支援。荏原製作所及び東邦チタニウムが現地新工場を設立予定。

エネルギー

原油共同備蓄に係る協力

（日本側）経産省、JOGMEC（サウジ側）サウジアラムコ

- 2016年10月締結のMOUに基づいた、原油共同備蓄に関する協力。協力の3年の延長と、200万バレルの容量拡大に合意。

アラムコIPOに関する協力

（日本側）経産省、東証（サウジ側）サウジアラムコ
サウジアラムコの東証での上場に向けた、共同研究会の設置を見据えた協力。

省エネの促進

（日本側）経産省 （サウジ側）SEEC

- 2016年9月締結のMOUに基づいた、省エネ分野での協力。

再エネの促進

（日本側）経産省（サウジ側）エネルギー産業鉱物資源省

- 2016年9月締結のMOUに基づいた、再エネ分野での企業間の情報共有などの支援に関する協力。

発送電に関する協力

（日本側）日立 （サウジ側）ナショナルグリッド（送電公社）

- サウジ国内変電所機器に関する電力インフラの開発における技術協力。

日・サウジビジョン2030 先行プロジェクトの例（2 / 4）

医療・保健

医療・保健分野での協力【覚書】

- （日本側）厚労省 （サウジ側）保健省
- 医療研修及び研究分野の協力、医療分野における専門家の交流を通じた協力、並びに医療・保健分野における経験の交換を通じた協力。

質の高いインフラ

海水淡水化、再生水に関する協力【覚書】

- （日本側）経産省 （サウジ側）環境・水資源・農業省
- 日本の技術を活用した海水淡水化及び再生水に関する実証プロジェクトの実施に向けた協力。

メガトン実証プロジェクト

- （日本側）NEDO （サウジ側）SWCC
- 省エネ・低コスト海水淡水化の実証プロジェクトの実証事業の早期開始に向けた協力。

正浸透（FO）膜技術の開発に関する協力【覚書】

- （日本側）東洋紡、JFEエンジニアリング
（サウジ側）SWCC
- FO膜技術を活用した海水淡水化技術の開発に関する協力。

住宅分野での協力【覚書】

- （日本側）凸版印刷株式会社（サウジ側）住宅省
- バーチャルリアリティ技術を活用した住宅建設に関するカスタマーサービスの開発に関する協力。

中小企業・能力開発

中小企業政策の実施、キャパビルに関する協力

- （日本側）経産省 （サウジ側）中小企業庁
- 中小企業政策の実施に関するベストプラクティスの共有のためのプラットフォーム構築等に関する協力。

「カイゼン」普及に関する協力

- （日本側）JICA （サウジ側）SASO
- 「カイゼン」パイロットプロジェクト実施に向けた専門家派遣等の協力。

ビジネスマッチング

- （日本側）中小企業庁 （サウジ側）中小企業庁
- 両国の中小企業同士のビジネスマッチングを支援する。

社会発展に係る協力【覚書】

- （日本側）JICA （サウジ側）社会労働発展省
- ボランティア、社会投資及び非営利組織運営に関する情報及びノウハウ共有等に関する協力。

国家開発に関する協力

- （日本側）JICA （サウジ側）サウジ開発基金（SFD）
- 2016年9月に締結したMOUに基づき、SFDスタッフのキャパビルも含めた国家開発に関する教育を実施。

日・サウジビジョン2030 先行プロジェクトの例（3 / 4）

文化・スポーツ・教育

文化遺跡・観光に関する協力

- （日本側）外務省 （サウジ側）文化遺跡観光庁
- 文化遺跡・観光に関する協力。JICAが博物館経営や観光促進に関するトレーニングプログラムを提供予定。

日本文化週間

- （日本側）外務省 （サウジ側）文化情報省
- 芸術・文化交流を推進。2017年4月に、日本人指揮者・音楽家80名のオーケストラ公演を含む、日本文化週間をリヤドで開催。

教育の促進に関する協力【覚書】

- （日本側）文部科学省、JICA （サウジ側）教育省
- 教育に関する専門家派遣等を通じた協力。

2018年「アラビアの道」展に関する協力

- （日本側）東京国立博物館 （サウジ側）遺跡文化観光庁
- 2018年に東京国立博物館で実施予定の「アラビアの道」展に関する協力。

国際スポーツにおける協力強化

- （日本側）外務省、スポーツ庁 （サウジ側）スポーツ庁
- 「スポーツ・フォー・トゥモロー」を活用した柔道空手等分野での専門家派遣。

スポーツエリート交換に関する協力【覚書】

- （日本側）外務省、スポーツ庁 （サウジ側）スポーツ庁
- 情報交換や知見の共有のためのスポーツ選手交流に関する協力。

投資・ファイナンス

証券市場高度化に係る協力覚書【覚書】

- （日本側）JPX （サウジ側）サウジ証券取引所（タダウル）
- 日・サウジ双方の資本市場の更なる発展に向けた両取引所間の協力。

日・サウジビジョン2030 先行プロジェクトの例（4 / 4）

ビジネス促進措置(Enablers)

日・サウジ・ビジョン2030の実施体制強化【覚書】

- 領域横断的課題に取り組むサブグループを新設。東京とリヤドにビジョンの実施拠点「日・サウジ・ビジョンオフィス」を新設。

ビジネス環境の向上に向けた協力

（日本側）経産省 （サウジ側）経済企画省

- 日本側からのビジネス環境改善提案を踏まえ、経済特区（Enabler Showcase Zone）を含む事業環境整備に向けた調査を開始。

査証の利便性向上【覚書】

（日本側）外務省 （サウジ側）外務省

- 数次査証の発給の円滑化、手数料の適正化等を実施。

投資協定の発効

（日本側）外務省（サウジ側）外務省

- 投資環境改善に向けた投資協定の発効。

模倣品対策に関する協力

（日本側）経産省 （サウジ側）商業投資省

- 2016年9月に署名された協力同意書に基づき、両者は、(1)集中市場摘発、(2)反模倣品啓発及び(3)真贋判定セミナーの開催に取り組むことを計画。

商業・貿易分野での協力【覚書】

（日本側）経産省（サウジ側）商業投資省

- 日本企業とサウジ企業のマッチング支援やシンポジウムの開催等の商業・貿易分野での協力。